

かめっ子 誕生

発行:神奈川区地域子育て支援拠点かなーちえ

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-29 東部療育ビル3階
TEL/FAX 045-441-3901 URL <https://kana-chie.com>

第62号

2021年3月発行

新なかめっ子誕生

季節の移り変わりを告げるように

次々いろいろな花が開花し続けています。

春がやってきましたね。花に誘われるように

新たな年度が始まります。出会いや新生活への

楽しみと不安がいりまじる...

そんな季節に、嬉しいお知らせを二つ

掲載することができました。四年振りに、

新しいかめっ子が上三枚町に誕生しました!

そして、

外遊び活動のグループが

星野町公園でも

プレイパークを

開催することになりました。子どもや

子育て中の家族のための居場所や温かいまなざしが広がりまゝす。



上三枚町

45か所目のかめっ子が誕生しました😊

昨年の秋頃から、自治会と民生委員・児童委員で「すくすくかめっ子の“勉強会”」と称した会合を開き、話し合いを重ねてきました。

その中で、地域の子育て中の親子への皆の想いや身近な町で、場を開く事の大切さを確認しました。そして、近隣の子育て支援の日と重ならないように、第2木曜日、3月11日(木)10時、

上三枚町に、かめっ子が誕生しました!



自分自身のために話し相手が必要と感じていました。遠慮なく話ができて良かったです♪

支え手さんより

自治会長が軽トラックで地域を回って、直接声をかけました。そして、声をかけられた人が遊びに来てくれました♪(地域ならではの温かいエピソードですね!)

かめっ子に来てくれた親子と話しました~♡これからは、困ってそうな人を見かけたら声をかけることができそうです。



開所日には、たくさんの親子が来所。地域の支え手の方々だけでなく、若竹苑・片倉三枚地域77ラザ スタッフ・保健師等も一緒になって、新しい居場所の開所を喜び合いました。

子どもと関わることで癒されている自分を感しました。

広範囲からの参加に、驚きました。



出産後、孫の顔を見せに行けなくて残念だったのですが、ここでいろいろな人に声をかけてもらえて嬉しかったです♪



③ 危機的状況における遊び

IPA (international play association)

子どものくらしに関わる人のためのガイドより

ガイドより

- * 危機的状況の間の子どもの遊びをサポートする
子どもは大人のように言葉で辛い状況を話せない
- * 家でのうるさい、または破壊的に見える遊びに対応する
- * 危機的状況における遊ぶことの重要性
- * 喪失、病気、そして死といった辛いテーマを含む遊び
- * 家での「はちやめちや遊び」
- * 家まわりで見つかる遊びの素材
- * 外で過ごす時間を最大限に活かそう
- * スクリーンタイムと遊び…よりよいバランスを見つけるには
- * 家の外で遊べない時の遊び
- * 子どもの遊びについて考えてみよう

遊びつつづける!



“コロナごっこ”
アビガンビーム！を生み出す！
子どもにとって遊ぶことは、
危機的状況の中でも
リラックス、安心を得る
ための大切な事

“破壊的な遊び”は、
誰かを傷つけずに
自分をコントロールして
いるようだ。



やわらかいので
ボクシングの真似！！
「ベイバー」と叫ぶだけの即興歌
叫ぶって大切！
やってみたら意外と面白かった。



子ども達の遊びは、
子どもなりにコロナを
どう感じているかヒントをくれる。
出したいと思っている子には
出させてあげるのが良い

目の前の事を、
遊びを通して再現しながら
自分をコントロールする。
遊びにして怖い事を
自然と、楽しく、
乗り越えている。



④ 一人ひとりが思ったこと・これから

- このガイドが自粛中の暗い気持ちの一筋の光になった。
子どもの力を信じた。大人から見たらきれいな姿ではないかも知れないけど、子どもは乗り越える。
- 死をイメージした遊びなども、気持ちの整理をつけている時間と分かった。ダメと言わず、子どもが感じている事に共感して、話をしようと思った。
- 作られた町の中で作られた公園。これからどんな遊びができるのか、乳幼児の発散の場を作りたいと思う。
- コロナが教えてくれたこともある。子どもにとって何が良いのか分かった人が、“皆がいきいきできる社会”をつくっていかう”となってくれと良い。
- 親だけでなく、信頼関係をもとに他のお母さんと褒めたり、注意し合えるようになりたい。
- ひろばスタッフとして外に出て、色々な人と繋がりたい! 発信したものを受け取ろうとしている人がたくさんいる! と分かって嬉しい。

外遊び活動の団体が 増えます!!

神奈川県きらきらプレイパークの
外遊び運営委員が、コットンハーバー
地区の CCT の皆さんと繋がり、
“きらふわ遊びの会”となりました。
新しいきらきらプレイパークが
始まります。

応援してくださいね♪

- 70歳!子どもたちとこれからどう繋がるか楽しみにしている。
- 皆さんのそれぞれの取り組みが素晴らしい。
地域から必要とされている。できるところは協力したい。
- 子どもらしい遊びを願っている人が多くいると分かった。子どもが遊ぶことの重要性についての資料を初めて見た。知ってはいたが文字で見ると、なるほどと思った。

話そう! コロナ時代を感じた外遊びの大切さ

かな一ちえでは、公園やプレイパークへの出張や、外遊びに関わる人を応援する活動を行なっています。しかし、今年度は、区と共催の外遊び体験プログラムも、外遊び支援者のネットワーク交流会も、3年目を迎えた「外そとあそび市」も、中止に……

「これまで育ててきた区内8ヶ所の、支え手同士で語り合いたい!」そんな想いからオンラインで外遊びネットワーク交流会を行いました。「遊びに関わる人の応援団」活動が続けいらっしゃる嶋村仁志氏とオンラインで繋がり、今の社会状況下だからこそ「遊びの必要性」を学び、語り合いました。



嶋村仁志氏

TOKYO PLAY 代表理事
日本冒険遊び場づくり協会理事

- プログラム
- ① 嶋村さんの見たコロナ禍の1年・出会い
 - ② 参加者トークタイム「話を聞いて感じたこと」
 - ③ 子どものくらしに関わる人のためのガイドの話
 - ④ 一人ひとりが思ったこと・これからの活動

① 嶋村さんの見たコロナ禍の1年と出会い

国際 NGO セーフ・サ・チルドレン 子どもアンケートから (2020.3)

- * 友達に会えず辛い。
- * 外で遊んでいたら通報された。
- * 親が勉強の遅れを心配するので家に居づらい。
- * 10代の自殺増加。

5月から前年を上回り、11月は前年の倍。

出会った人

- * 雨の中、1歳半の子を連れ「7か月ぶりに外で遊びます」と泥遊びをしていた妊娠中のお母さん。
- * 「こんな時期に来ちゃってすみません」と、謝っていたお母さん。
- * 滑り台使用禁止を見て、「人はダメでも物ならいいよね」とボールなど滑らせる発想力のたくましい子ども達。
- * 自粛中、まだ習ってない宿題を前に泣いていた子ども。

川崎市子ども夢パークでは

- * 開園を続けた。
- * 遊具貸出し・持ち込み、食事、たき火等、様々な中止があり、禁止掲示が増えた。
- * 開園を続ける意味があるのか、何度も話し合いが続いた。

東京都港区プレーパークでは

- * 3月～5月 区の意向により閉園。
- * 親子の状況が見えなくなってしまった。
- * 開園後、ものを叩く蹴るなど、ストレスからくるような遊びの姿が見られた。
- * 斜面滑りなど身体を動かすスリッパとする動きを、小さい子も小学生も必要として遊んでいた。

子どもなりに親を心配させないよう、周囲のことも気にしながら頑張っていた。一人ひとりの気持ちを抱っこしてあげたい。

② トークタイム

- ◎ 子どもにもストレスがあるだろうと感じていた。蹴ったり叩いたりするなら、それを遊びに転換して発散させてあげたい。
- ◎ 私自身、自粛中に子どもが話しかけてきても聞けなかった時がある。余裕がなかった。大人にとっても子どもにとっても外遊びは大事なんだと再確認。
- ◎ 私も子どもの気持ちを抱っこしてあげられるお母さんでいたい。

- ◎ 子どもの方が良く分かっている。やってあげよう、教えてあげようではなく、大人も一緒に楽しみ、辛い時に話し合えるような繋がりを大事にしたい。
- ◎ 子どもなりに一生懸命考えているのだと分かった。子どもの力、柔軟性を信じようと思った。
- ◎ 子ども達の感情のほどばしりが大事だと聞いて、型にはまった注意ばかりしなないようにしたいと思いました。
- ◎ 「子どもだって頑張ってないわけ、ないよね」という言葉。子育てする上で忘れないうにしたい。

かめっ子親子のたまり場訪問

今年度は、11会場に訪問しました。各会場での温かいご対応に感謝いたします。



毎年、訪問を通して、支え手の皆さんの率直な声や、遊びに来ている親ごさんの感想を聞かせていただけることがなにより、の糧になります。21年目を迎えるかめっ子がそこにあり続けている”秘けつ”に触れられる感動の時間です。



【支え手さんより】
 ◎月1回でも、支え手として来所できることが、私の生活の楽しみ♡
 ◎嬉しそうに帰っていく様子を見ると、私も嬉しい。

◎心配しながらだったが、しっかり対策すればできなくない、と思って開催した。
 ◎コロナ禍で、ご夫婦の利用が見られ、「新しい変化」を感じる。

参加した親見の声

- 子どもは、もうすぐ1歳。コロナの1年になった。積極的に友だち作りができない中、かめっ子に来ている人には声もかけやすく、話をしてくれると思えるので、それだけでも気持ち became 楽になった。
- 大人と話していなくて、誰かと話したいと思った。子どもも楽しそうで、来て良かった。
- 自粛中は、子どもと2人きりでつまらなかったけど、「再開」と聞いて、嬉しかった。子どもも、仲間がいるところは、一緒に遊んでいなくても、楽しそう。

- 広くて、自由に動き回れるし、いつでも誰かがいるし、子どもに優しく声をかけてもらえるし、安心できる場。
- 赤ちゃん学級は、申し込み制だけど、フラッと来ていい所なので、助かる。
- 自由におしゃべりできるし、子育てや自分のこと、家族のことまで話せて、助かっている。
- 掲示板で、チラシを見て来所しました。いろいろなることを教えてもらえたので、来て良かった。

令和3年度、神奈川区では、かめっ子事業を支えてくださる、各かめっ子・支え手の皆さんのいろいろなお声を聞きかめっ子事業に反映するために、簡単なアンケートを実施する予定です。どうぞよろしくお願ひ致します♡

【編集後記】
 毎年三月十一日に合わせて我が家では、防災グッズをチェック！震災直後に、買ったモノが期限切れだったり、他に使用がなくなって電池が無かったり：慌てて買いに行くことになりました

